

四半世紀を超えて、『新たなる旅立ち』へご一緒にどうぞ。

1986年に発足した富士通沼津吹奏楽団。毎年初夏の演奏会は、26回目を迎えます。昨年は、四半世紀の区切りとして”記念定期”と銘打ち、この演奏会を支えてくださる皆様への感謝を込めました。今回は、次の四半世紀に向けた新たなスタートです。

このスタートにあたっての私たちの思いは『挑戦』です。これまでのご支援に感謝しつつ、次のステップに向けてさらに前進いたします。

新しい息吹、大きな夢、支えあう仲間を感じながら、皆様と共に地域に根ざした音楽活動を目指します。

どうぞ、私たちの音楽会へお越しいただき、一緒に楽しい時間を過ごしませんか。お待ち致しております。

指揮者紹介



指揮 高田利英

Torshikide TAKADA

静岡県浜松市出身。国立沼津高専電気工学科卒業。エンジニアとして株式会社富士通静岡エンジニアリング（現・富士通ソフトウェアテクノロジーズ）に約三年間勤務した後、吹奏楽指導者を志し、専門学校東京コンセルヴァトアール尚美（現・尚美ミュージックカレッジ専門学校）研究コース修了。吹奏楽指導法を小澤俊朗、近藤久敦、鈴木孝佳、佐藤正人、クラリネットを高橋知己、秦中司朗の各氏に師事。

東京ミュージック&メディアアーツ尚美管弦打楽器学科専任助手を経て、現在は東京藝術大学管弦楽研究部（藝大フィルハーモニア）のインスペクターを務めるほか、吹奏楽やアマチュアオーケストラのトレーナーとして指導にもあたる。富士通沼津吹奏楽団音楽監督、沼津高専吹奏楽団常任指揮者。

富士通沼津吹奏楽団の創世記に関わり、吹奏楽コンクールや第1回から第6回演奏会にクラリネット奏者兼コンサートマスターとして参加した。

初夏とクリスマス、年二回のコンサートを開催しています。
1988年からスタートした初夏のコンサートは、今回で26回目です。
1999年からスタートしたクリスマスを楽しむファミリーコンサートは、演奏会の収益を寄託するチャリティー・コンサートとして活動を続けています。



自主公演

中高生との交流

地域のみなさんとの交流の中で、中学校や高校の吹奏楽部の若いみなさんと一緒に演奏させていただく機会を多く持つよう心掛けています。

中高生にとっては、合同演奏のステージ経験はもちろん、本番に向けて団員と一緒に練習を重ねる時間が、日頃の部活動では得られない貴重な体験になるようです。

団員も、親子ほど世代が離れた中高生の成長を目の当たりにすることができて、良い刺激を受けています。

企業内のサークル活動としてスタートしましたが、地域の皆様のおかげでたくさんのご支援に支えられてここまでできました。

地区自治会の納涼祭などのイベントや、小中学校の音楽鑑賞会などからお招きいただきます。



地域とのふれあい

わたしたち
4つの
活動

ジャズバンド



吹奏楽団のメンバーで、ジャズバンドも編成しています。
ダンス音楽からスタンダードジャズまで、幅広くこなす演奏力とお誘いは断らない積極性のおかげで、あちこちからたくさんの演奏機会をいただいています。

技術の向上を目指して、ジャズフェスティバルや東京ディズニーランドへの出演など他流試合も積極的です。

活動の成果を集大成した自主制作 CD も発表しました。

お知らせ

クリスマス
チャリティー
コンサート 2013

2013年12月8日(日) 沼津市民文化センター大ホール

1999年からスタートしたクリスマスのファミリーコンサート。2000年からは収益を寄託するチャリティーコンサートとして、みなさまに支えられています。ご家族連れで、お友達同士で、富士通沼津吹奏楽団がお届けするクリスマスを楽しんでください。



2012年クリスマスコンサートから